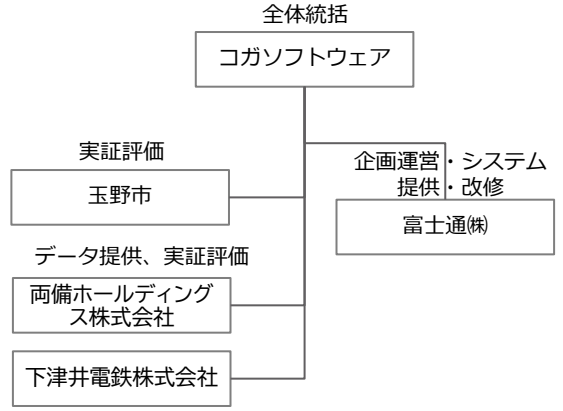
19 国交省標準仕様データを用いた地域交通総合シミュレータによる地域公共交通計画策定業務の高度化検証事業｜コガソフトウェア株式会社

プロジェクト概要	玉野市の地域公共交通計画策定業務に国交省標準仕様データを用いた地域交通総合シミュレータを活用し、デマンド型交通を含む地域公共交通最適化の効率的な計画策定を実践し、その効果を検証する
課題	● 公共交通の需給バランスが取れ、かつ交通事業者に納得感のある公共交通再編計画を策定することが難しい。特に、デマンド交通普及の最適化が進まない。 ● 地域公共交通計画は、一部の自治体職員とコンサルへの委託により実施しているが、当該スキルを有する職員を継続的に確保することが難しい。
取組内容	● 令和7年度COMmmmONSにて富士通が開発した地域交通総合シミュレータを用いて実態に即した地域公共交通計画を策定し、交通事業者、住民等との検証会を行い、計画の納得性や事業者視点での有用性について評価頂く。 ● 自治体独自で地域交通総合シミュレータを活用した地域公共交通計画を策定することの評価を行い、地域公共交通計画策定ガイドラインとして取りまとめる。 ● 周辺自治体との共有会を実施し、地域交通総合シミュレータを他自治体に横展開するに際しての課題や条件等を取りまとめる。
事業要件	● データ統合によるモード横断のデータ活用（協業化）
技術要件	● 乗降実績データ標準仕様書（鉄道・バス） ● 公共交通運行情報標準データ仕様書（GTFS-JP）v4
効果	● 地域公共交通計画において、KPIを含めて明確な方向性を示すことが可能となり、交通事業者等の納得性や有効性についての理解が得ることが可能となる。 ● 自治体職員のみで一定レベルの地域交通計画を策定することが可能となり、これまで使っていたコンサルへの委託費用の削減が見込める。
事業実施自治体・エリア	玉野市
交通事業者	バス：両備ホールディングス株式会社、下津井電鉄株式会社 デマンド交通：旭タクシー
アプリ・システム等	■ アプリ・システム：地域交通総合シミュレータ ■ データの取得方法： 路線バス、コミュニティバス等のODデータを各システムから取得/公開サイトからGTFSデータを取得 ■ データの活用方法： シミュレータの補正用データ、シナリオデータとして活用

座組



スケジュール

～7月 要件定義

8～10月 システム開発

11月～12月 シミュレーション

1月～2月 分析結果検証、報告書作成

Copyright © 2026 by MLIT. All rights reserved.